

東京アートポイント計画

東京アートポイント計画は、東京都・アーツカウンシル東京・NPO*がパートナーシップを組み、社会に新たな価値観や、人々が自ら創造的な活動を生み出すための「アートポイント（場/拠点）」をつくる事業です。当たり前を問い直す、課題を見つける、異なる分野をつなぐ——そうしたアートの特徴をいかしたアートプロジェクトを通じて、わたしたちの暮らすまちに、個人が豊かに生きるためのよりよい関係や仕組み、コミュニティが育まれることを目指しています。

* 特定非営利活動法人のほか、一般社団法人など非営利法人を含む



▶ 拠点形成事業

・政策立案を行う東京都、中間支援を担うアーツカウンシル東京、事業を実施するNPOによる共催を2009年に開始
 ・これまでに45件の事業を56の団体(NPO/自治体/大学/財団)と展開。様々な参加型プログラムを実施しています



ACKT (アクト/アートセンタークニタチ)

国立市に拠点「さえぎ洋品●(てん)」を開設。公園をつかうワークショップや、まちめぐりイベントを開催。

多摩の未来の地勢図 Cleaving Art Meeting

多摩地域のリサーチや、図工教員向けの工作・素材のワークショップ、小学校との連携授業等を実施。

KINO ミーティング

海外に(も)ルーツをもつ人々と映像作品を制作し、上映会やトークイベントを都内各地で実施。



カコクリサイクル

江東区大島の団地に拠点「Studio04」を開設。災禍の記録(禍録)にまつわるリサーチや展覧会等を実施。

もててラボ

台東区谷中に拠点「5005」を開設。視覚言語(日本の手話)からなる自然な文化をテーマに場づくりを実践。

アートアクセスあだち 音まち千住の縁 Memorial Rebirth 千住 2024 舎人公園

足立区や東京藝術大学と連携しプロジェクトを実施。

プログラムオフィサーの伴走



アートプロジェクトの専門スタッフ・プログラムオフィサーが現場に伴走します。

— 中長期計画の策定
 — 事業の実行支援
 — 経理、庶務の補助 など

プロジェクトを支える4つの特徴

1. 民間と公共がパートナーシップを組み、共催によるプロジェクトを実施します。
2. 単発のイベントではなく、年間を通じて活動し、その管理費もサポートします。
3. 地域での活動を継続するために、土台となるチームづくりを大切にしています。
4. 共催事業を行うNPOどうしや他団体とのネットワーク形成に取り組んでいます。

▶ 環境整備事業

・現場の課題に応じた企画や研究開発、技術や知見を蓄積するウェブサイト運営など様々な取り組みを実施
 ・アートプロジェクトの担い手となる市民や専門家、文化事業に携わる人々に向けて学びの場をひらいています



演習 | 自分のアートプロジェクトをつくる (ゼミ)



Artpoint Meeting (トークイベント)



Tokyo Art Research Lab (TARL) ウェブサイト

東京都・区市町村連携事業

地域のニーズや課題に即した文化イベントを自治体と連携して実施することで、住民が芸術文化に気軽に触れられる機会を創出する事業です。2023年度から開始し、2024年度からは東京アートポイント計画のこれまでの手法やネットワークを活用して展開しています。自治体が企画の担い手となることで、中長期的な文化事業の展開を目指しています。2024年度は3つの自治体と共催し実施予定です。

